

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2023年

6月

214号



- ◇ゼレンスキー大統領が日本に来た理由
- ◇幸せになりたい本気度はどこまであるか
- ◇市川猿之助一家はなぜ心中をしたのか

# 利他の心を育もう

『思いやりのある家庭と社会を作ろう！』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

## WCRP、G7 広島サミット・宗教者による祈りとシンポジウム



WCRP 理事として閉会挨拶をされる会長先生

5月10日G7広島サミットに向けて宗教者による祈りとシンポジウムが広島熾町カトリック教会世界平和記念聖堂で各宗の祈りが捧げられ、会長先生が閉会挨拶をされた。



平和の祈りを捧げる参加者  
中央右は会長先生



世界平和記念聖堂の聖壇



神道の祈り



カトリックの祈り



イスラムの祈り

## こころの里山建設募金 ご協力御礼

☆皆様のご協力に書面をもって御礼申し上げます。

- |      |       |       |      |      |      |      |      |       |      |      |       |      |       |      |      |       |      |
|------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|-------|------|------|-------|------|
| 高橋身衣 | 澤 芳子  | 後藤千代子 | 新山律子 | 小谷恭代 | 加納啓至 | 足立珠紀 | 足立和美 | 加藤しづ子 | 松尾定行 | 久綱秀明 | 杉山佳美  | 鈴木正巳 | 京川三枝子 | 京川春男 | 福元正子 | 広田えり子 |      |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |
| 土川順寛 | 國井奈加子 | 田中佑季子 | 田中庸仁 | 谷口祐晟 | 谷口祐子 | 西野哲三 | 坪井祥子 | 浅井佑季子 | 堀田純子 | 土川恭代 | 横山知津子 | 横山宜政 | 佐藤百々枝 | 半澤照子 | 馬淵昇  | 宮田雄貴  | 早野起世 |



《利他の実践行》  
 Unicef「つなぐよ子に」  
 ご支援のお願い!!  
 《直接募金》  
 教会常設「いつでも救援募金箱」  
 《振込募金》  
 三菱UFJ銀行 岐阜支店  
 宗教法入真生会救援基金  
 (普通) 0133193



井戸による安全な水の提供



# 開祖さまのみ教え

開祖 田中 偉仁

「子供の良くなる教え」

岐阜には信長で有名な岐阜城が金華山の頂上にあります。小さな山城ですが、夜になると投光器をもって照らし、暗黒の夜に浮かび上がる姿には威厳いげんがあり、岐阜を象徴する崇高な姿すうこうを現します。これと同様、どんな馬鹿な子供でも非行暴力に走る子供でも、親の積む徳の光で応援して照らすなら、暗黒の人生から浮かび出て、若者らしく潑刺はつらつと希望をもって進むでしょう。

子供の姿は親の過去積み重ねて来た言動の答えであり、子供の将来を案ずるなら、親自らが襟えりを正し、私生活を改め、誰から見られても恥ずかしくない道を歩み、徳を積み続け、「今に良くなる」と子供を心から信じ、子供の寝姿、後姿を拝んで育てる親になって初めて人から仰がれる子供に育つのです。

(1981年、真実に生きる25号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁たなか つねひと



◇ゼレンスキー大統領が日本に来た理由わけ

G7広島サミットが世界中から注視されるなか無事終了しました。最も驚いたことは、戦争真っ只中で切羽詰せっぱまった状況の中、ウクライナ・ゼレンスキー大統領が電撃来日し、会合に直接参加したことです。当初はリモート参加が伝えられていましたが、直接会議に参加し対面で継続支援を訴えました。二日間という限られた時間の中、G7各国首脳に個別に直接現状を訴えたことにより、今まで得られなかった最新鋭戦闘機など多くの支援の確約を取り付けました。ロシア寄りのインド・モディ首相にも直接協力を訴えました。

国家存亡の危機で国を離れられない窮地きゆうち、約束やお願いならリモートでも国

際電話でも出来ませんが、なぜ一時も目を離せない戦況の中、攻撃されるかもしれない暗殺されるかもしれない危険をおかしてまでもなぜ来日したのか！そこには助けてほしい支援してほしいという「本気度」が現れているのです。リモートや電話では伝わらない本気度が伝わったからこそ各国から追加支援、継続支援の確約がもらえたのです。

◇幸せになりたい本気度がどこまであるか

私たち信仰者も同じことです。目の前の病苦、経済苦、家庭の苦、人間関係苦などを解決したいと思いい信仰をしているはずですが、その思いがどこまで本気なのか、仏さまご先祖様に願いが届き、功德が頂けるほどの真剣さ本気度があるかどうかではないでしょうか。

仕事の都合、家庭の事情などありますが、休み



休み気の向いた時や困った時だけの信仰では仏さまに「幸せになりたい本気度、問題を解決したい本気度」は伝わりません。

コロナ感染症も下火となった今、総本山真生寺や教会のお膝元ひざもとのご信者は月に一回や二回は直接お参りしましょう。遠方でなかなか来られないご信者も、一年に一度や二度は是非、万難を排して参拝し、仏さまに本気度が伝わる信仰をしましょう。きっと仏さまからのご守護が頂けると確信致します。

信仰こそ「リモートでは得られないものがある」のです。

#### ◇市川猿之助一家はなぜ心中をしたのか

五月十九日、歌舞伎役者市川猿之助さんの自殺未遂、両親は死亡のニュースが飛び込み、日本中が驚愕きょうがくしました。事件の真相はまだ解りませんが、家族会議で「死んで生まれ変わろう」と決めたとのこと。背景にはどの家庭も抱えている老老介護の問題や某週刊誌による猿之助さんのパワハラ、性加害のセクハラ疑惑も報じられています。

人生は絶好調、有頂天の時こそ危険なのです。山が高ければ高いほどその頂点から転げ落ちた時には命にかかわるのです。そして、急上昇は急降下の危険



があるのです。社会的地位と大きな役割のある一家が家族で死のうというほど行き詰まった時、また行き詰まる前に相談する「人生の師」がいなかったことが悔やまれます。不徳や親と意見の合わなかった人、悪い因縁のない家はありません。出来の良い自慢の子がある日突然難病になったり、親の期待に添わなくなることもあります。親にも相談できない、夫婦でも話せない、友達にも言えないという苦に直面した時に相談できるのが「信仰の師、教えの師である」と開祖さまは常々申されておりました。そこに信仰のすばらしさ、存在意義があるのです。

しかし、信仰を始めた頃は、先生には何でも相談しよう、誰にも言えないが教えの先生には相談していたのに、うっかりすると信仰も古くなってくると、今さらこんなことを聞くのは恥ずかしいとか、面目



窓下有清風



ないとか、わざわざ聞かなくても「徳積みでしよう、懺悔さんげ（反省）でしよう、お経上げでしよう…わかってます。知ってます。やってます」という油断と慢心で仏縁から遠ざかり、先生にだけは内緒ないしょにしておこうと本末転倒の信仰になり始めたら、人生は黄信号です。しまったと気付いた時には「ゆで蛙になっ  
てしまいい」不幸のぬるま湯から飛び出す力がなくなってしまします。

長年信仰を続けながらなかなか問題が解決しない人、不幸ではないが喜べないことや心配事が日々積もっている人は、教えの原点に戻って教会に足を運び、日参をし、素直な気持ちで先生に相談しましょう。必ず道が開けてきます。

市川猿之助さん家族のような社会的地位や名声があっても、相談する師がないということは、最悪の事態を迎えてしまうという悲惨さを物語っています。

#### ◇非常時にこそ家族信仰が大切

病気の夫、父を何とか救いたいと毎日のように教会に日参して仏さまに祈り、病院での看病を続けているご家族があります。

発病されてから約四か月、アルツハイマー型認知症、脳腫瘍、悪性リンパ腫、胃ろう手術、肺炎など次々と病状が変化する中、医師や看護師からの説明や対


応に一喜一憂、葛藤の日々が続いています。

日参の度に逐一病状の報告をされ、心の持ち方や看病の仕方を相談をされ、一心行で人を拝み、自分も拝んでもらった徳をもって病人を毎日拝み続けてみえるのです。家族が同じ信仰のもと一丸となって精進され何度も難関を乗り越え、コロナ禍で面会や直接看病の難しい中にもかかわらず、家族の病人を何とか家に帰れるようにしたいという本気の献身によつて、直接の看病が許されているのです。

そして、リハビリや治療にあたる看護師から、「家族が看病されている時の患者の反応は、明らかに違います。頑張りましょう」と励ましの言葉も頂いています。一人の努力には限界がありますが、二人三人と家族の信仰的一致協力があればこそ難関も突破出来るのです。



## 2

老人になるか  
朗人になるか  
籠人になるか  
さあ、  
あなたは  
どっちだ  


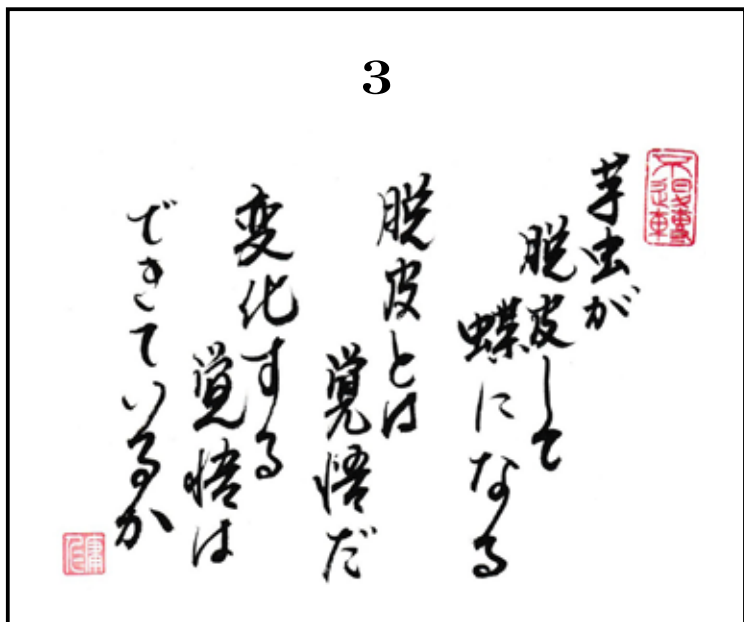
### 日めくり解説②

日本は超高齢化社会になり、人生百年時代が到来し、誰でも老人になるのですが、どういう老人になるかが問題です。

- ・時の流れに任せて老人になるか？
- ・人生経験を生かし、楽しく朗らかな日々を送るか！
- ・終活のために色々なご縁や生きて来た証を整理し寂しく家に籠り、自分だけの小さな幸せや楽しみの中に籠る日々を送るか？

長く続いたコロナ感染症も五類相当扱いになり、いよいよ日常生活に向かつて動き始めました。さあ、あなたはどの人を目指しますか？

3



地面を這はいずつていているだけの芋虫いもむしも、蛹さなぎとなり脱皮すれば、前の姿とは似ても似つかぬ華麗かれいな蝶ちょうとなって、自由じゆうに大空を飛び回ります。

誰でも変化し、人生を一新して蝶のように自由に飛び回りたいと願うことがあるでしょう。私たちも、地道にひたすら努力をしていると、就職、起業、結婚、子育て：いつか大変身できる時がやってきます。

その時、大飛躍する覚悟かくごと実力じつりきができていくかどうかです。平素から徳を積み、変化に動じず変化に乗って上昇することができる心と徳分の準備をしておきましょう！

# 今月の運勢（7月）

（2023年7月8日～8月7日）

## 一 白水星

運氣はゆっくり着実に上がり始めるが、草創期の苦難に直面する。無から有を生み出す絶大なエネルギーが必要だが、困難を乗り越えれば喜びが生まれる。軽率な前進は危険。

## 二 黒土星

上昇発展の時を迎え、最高潮のあなたを誰も邪魔することはできない。この発展をより伸ばし継続するには、支えてくれる経験豊かな人物との出会いが大切になる。

## 三 碧木星

行動的な三碧だが、一旦動きを止めて休養す

ること。心をゆったりと整えれば、周囲の色々な様子がよく見える。新しいことは始めず、計画を見直してエネルギーを蓄えよう。

## 四 緑木星

物事を完成させ、結果を出す時だがエネルギーが足りない。小さな願いは叶うが時期尚早で準備不足。大きなことは考えず、目上の人の応援を受け、時間をかけて前進すれば目的に到達できる。

## 五 黄土星

努力が実り収穫の時を迎えている。飲食や出合いを通じて家族や友人を喜ばせ、楽しい時

を過ごすことを心掛けよう。但し、調子に乗り過ぎて一言余分であつたり、言葉足らずに注意すること。

## 六 白金星

壁にぶつかり対応が分かれる。実力者は潔く身を引くも良し、未熟なれば正道を守り今ままで通り突き進むこと。進退を決める時はあつさり背を向けるか止まらべきか熟慮が必要。

## 七 赤金星

古く腐った部分や不要なものを取り除き、情熱をもって改革・変革を実行すること。変革にトラブルは付きものだが、機が熟すのを見

極めれば、意外に呆気なく実現できる。

## 八 白土星

運氣の谷間で昼なお暗く目的地が見えない状態。経験の乏しさで先が見通せないので、自分の方から積極的に経験者に尋ねると良い。人に頼らず、誠心誠意自ら動けば、進むべき道は開けてくる。

## 九 紫火星

事態がようやくよくなる見え始めるが、月の前半はまだ不調、後半から勢いが出始める。明るく公平な考え方で素直で従順な気持ちで進めば上位者の応援を得て必ず上昇できる。

## しあわせ眼鏡

この顔が担保でござる

(幕末の三舟、高橋泥舟)

・思いやりのある人は、  
やさしい顔になり  
・明るく前向きの方は、  
ほがらかな顔になり、  
・意思の強い人は、しっ  
かりとした顔になり、  
・性根の悪い人は、悪  
人顔になる。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |           |  |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>TEL 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒454-0808 | 名古屋市市中川区九重町 3 - 10<br>TEL 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り  
します。詳しくはお尋ねください。

2023年6月10日発行 第214号(通巻319号)  
※誌代無料(一)浄財の献金により無料発行しています